

北斗遺跡

ひだまり広場の周回遊歩道を迂回すると、神秘的な北斗遺跡を望む展望台に辿りつきます。この遺跡には、1 万年以上前の旧石器時代から擦文時代（700 – 1200 年）に至るまで、人々が居住していたと考えられています。この長い期間を通じて、その地域の人々は竪穴式住居に居住していました。この遺跡では、縄文時代から縄文時代後（紀元前 14,000 – 西暦 700 年）に建設された浅い円形と楕円形の竪穴式住居が 102 軒、擦文時代に建設された 232 個の四角形竪穴式住居が発見されています。これまでの発掘調査によると、旧石器時代の火を炊いた跡、縄文時代の住居跡、墓や小貝塚、擦文時代の住居跡等が確認されています。中でも擦文時代は、鉄器、繊維遺物、はた織具の一部、栽培植物の種子などが出土しています。